近畿高体連サッカー部
公　式　記　録

会場責任者	主審サイン
千田　充弘	中市　里実　氏

大会名	平成30年度 第７１回近畿高等学校サッカー選手権大会<女子>	１回戦	⑯	平成30年6月16日　（土） 12 時 30 分 キックオフ	競技時間	７０分	記録者 松原　正志
					観衆	３００人	

会場	Ｊ－GREEN堺　S6	天候	晴 曇 雨	風	強 弱 無	芝	状態	良好 不良 泥沼	審判	主審 中市　里実　氏
										副審 A1 田中　彰　氏 A2 中西　俊英　氏
										第４の審判員 原田　明宏　氏

【チーム名】		【チーム名】	
八　幡　商　業 高等学校	kick off	京　都　精　華 高等学校	kick off
（ 滋賀県1位 ）	先	（ 京都府1位 ）	先

	前半	後半	PK戦
八幡商業	0	2	2
京都精華	0	2	4

八幡商業 背番号	4	23	13	7								
	○	×	○	×	○							

京都精華 背番号	10	5	3	6	7							
	○	×	○	×	○	○	○					

交代時間	シュート（得点者は＊印） 延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置		背番号	選手名	学年	シュート（得点者は＊印） 前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間
分					3	深田 綾香	1	GK	GK	23	冨田　歩花	1					HT 分
分					3	木田　朱音	4	DF	DF	3	若林　真美	2	1				分
分					1	東　真理亜	22	DF	DF	4	青木　美彩生	2					分
分					3	髙宮　千聖	7	MF	DF	6	千本　翔子	2		＊ 4			分
分					1	森川　亜南	13	MF	DF	8	前田　穂乃香	3					分
分					2	秋道　花音	15	MF	DF	21	世古　祭	3					HT 分
分					1	山田　望佑羽	21	MF	MF	5	村上　亜海乃	3	1	1			分
分					1	池田　鈴花	23	MF	MF	18	小畑　せいか	3					分
61 分			＊ 2	1	1	岸田　亜莉沙	24	MF	MF	24	柴田　杏奈	3					HT 分
分			＊ 1		2	村田　樹里	10	FW	FW	10	宮本　麻衣	3		3			分
交代選手 70+1 分					3	田中　千遥	11	FW	FW	19	岡　優光	3					HT 分 交代選手
交代要員																	
番 分					2	北川　未侑来	2	GK	GK	12	岡田　満里奈	3					分 23 番
番 分					3	大屋　菜々穂	8	DF	DF	16	松岡　亜海	3					分 番
番 分					1	辰巳　莉菜	20	DF	DF	22	一瀬　歩未	3					分 番
24 番 分					3	澤　瑞希	3	MF	MF	7	中内　日菜乃	2		1			分 24 番
番 分					2	西村　凜	9	MF	MF	9	髙橋　紫鈴	3					分 番
11 番 分					2	塚本　彩乃	18	MF	MF	13	大丹生　理子	3					分 番
番 分					2	西川　幸穂	14	FW	MF	14	髙橋　千彩	3					分 番
番 分					2	澤　杏美瑠	16	FW	FW	17	舩橋　舞花	3					分 21 番
番 分					2	関　彩可	17	FW	FW	20	五藤　さくら	3					分 19 番
	0	0	3	1	小計	4	合計	シュート数	合計		11	小計	2	9	0	0	

警・退	時間	番	氏名	事由	合計			後半	前半	チーム合計	前半	後半			合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				14			10	4	G K	2	2			4		分			
	分				0			0	0	C K	3	9			12		分			
	分				5			2	3	直接 FK	0	1			1		分			
	分				2			0	2	間接 FK	0	0			0		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点

時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト
39 分	八幡商業	村田　樹里		分				分			
48 分	京都精華	OG		分				分			
55 分	京都精華	千本　翔子		分				分			
59 分	八幡商業	岸田　亜莉沙		分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			

戦評者氏名　（　井　尻　真　文　）　　勤務先又は所属　（　星　翔　高　等　学　校　）

八幡商業は1-4-4-2のシステム、京都精華は1-4-1-4-1のシステムで試合が開始される。立ち上がりから両チーム、中盤での球際の攻防が続く中、徐々に京都精華がイニシアチブを取り始める。八幡商業は自陣で頂点から最終ラインを３５mほどでコンパクトに保ち、意図的に引き込みながら中央をしっかりと守り、奪ったボールをFW⑩村田⑪田中にボールを入れながら2列目がかかわりショートカウンターを仕掛ける。対する京都精華は個々の技術が高く主導権を握りながら丁寧にボールを動かしてアタッキングサードまで運ぶ。しかし、中央を固める八幡商業の守備を崩せない。前半戦は０－０で折り返す。後半戦に入り、試合が動き始める。戦術行動を変更し、八幡商業は前線から守備を開始する。39分には相手DFとGKの連係ミスを突いて、FW⑩村田が押し込み先制点を奪う。48分には京都精華はCKから相手OGで同点に追いつく。55分には左サイドからのアーリークロスをDF⑥千本が粘り強く対応して逆転に成功する。対する八幡商業は５９分に右サイドをMF㉔岸田の推進力のある突破から思い切ったシュートで同点に追いつく。個の力がみられた、素晴らしい突破からのフィニッシュであった。その後も粘り強く守り２－２の同点で試合が終了する。PK戦の結果４－２で京都精華が勝利して準決勝戦へコマを進めた。惜しくも敗れた八幡商業であったが粘り強い守備と球際の攻防、個のレベルは確実に上がってきている。冬の高校女子選手権大会での更なる飛躍を期待したい。準決勝戦ではアタッキングサードの崩しを更に工夫して京都精華らしいテンポの良い攻撃を期待したい。